

4 工業用水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、次の2事業を行っています。

事業名	給水開始	給水先
彦根工業用水道事業 給水能力 48,500 m ³ /日	昭和 46 年 5 月	彦根市、多賀町に立地する企業 14 社
南部工業用水道事業 給水能力 74,400 m ³ /日	昭和 43 年 5 月	守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、竜王町に立地する企業 44 社

○給水状況

①彦根工業用水道事業

令和7年度下半期の基本水量は、14社合計25,062 m³/日で、前年度同期と比べ176 m³/日(0.7%)増加しました。

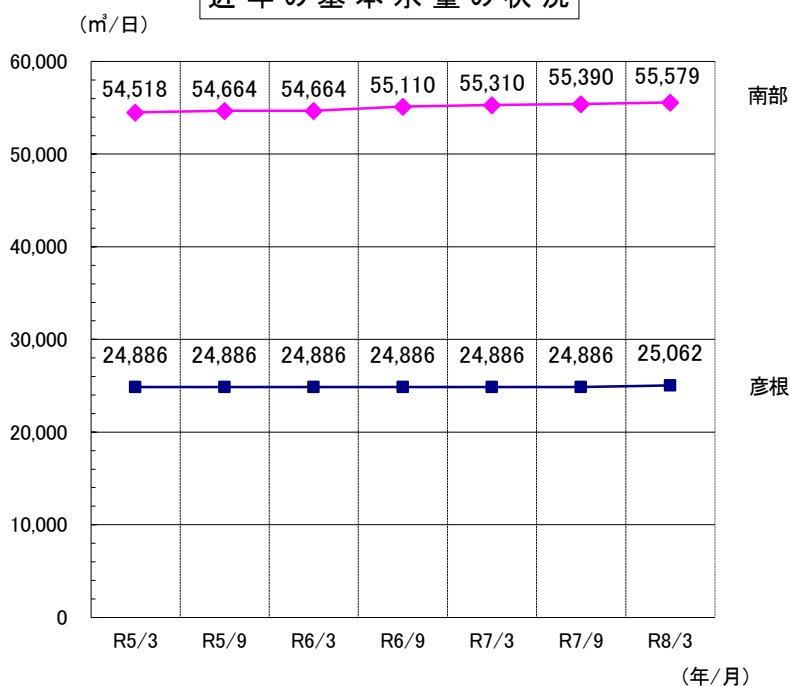
②南部工業用水道事業

令和7年度下半期の基本水量は、44社合計55,579 m³/日で、前年度同期と比べ269 m³/日(0.5%)増加しました。

○建設改良事業の状況

令和7年度下半期は、南部工水栗東六地藏ライン2工区管路新設工事や南部工水竜王山之上ライン管路更新工事等を実施しました。

近年の基本水量の状況



(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和7年11月定例会議および令和8年2月定例会議において、事業収益については他会計補助金の増加等により計63,101千円増額補正し、事業費用については業務費等の減少等により計61,425千円減額補正しました。また、資本金収入については国庫補助金の減少等により計2,338千円、資本金支出については入札差金等による構築物費の減少および有価証券購入費の減少等により計409,632千円、それぞれ減額補正しました。

○令和7年度予算の執行状況

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの 繰越(財源充当)額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
工業用水道事業収益	1,175,000	—	63,101	1,238,101	1,235,852	99.8
営業収益	1,057,134	—	9,880	1,067,014	1,065,636	99.9
営業外収益	117,866	—	53,221	171,087	170,216	99.5
工業用水道事業費用	1,012,600	—	△ 61,425	951,175	929,588	97.7
営業費用	957,417	—	△ 25,174	932,243	917,071	98.4
営業外費用	55,183	—	△ 36,251	18,932	12,517	66.1

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの 繰越(財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
資本的収入	578,000	—	△ 2,338	575,662	575,033	99.9
補助金	23,200	—	△ 1,700	21,500	21,500	100.0
諸収入	554,800	—	△ 638	554,162	553,533	99.9
資本的支出	1,829,100	141,627	△ 409,632	1,561,095	1,376,053	88.1
建設改良費	1,527,766	141,627	△ 208,996	1,460,397	1,275,576	87.3
企業債償還金	21,568	—	—	21,568	21,568	100.0
固定資産購入費	1,599	—	△ 636	963	818	84.9
投資	278,167	—	△ 200,000	78,167	78,091	99.9

(注) 1 補正予算額は、令和7年11月定例会議および令和8年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、営業外収益の増加等により、対前年度比5.1%増加の1,138,932千円となりました。一方、事業費用は、営業費用の減少等により、対前年度比2.7%減少の890,907千円となりました。この結果、純利益は、前年度より80,411千円増加し、248,025千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和7年度 決算額 (A)	令和6年度 決算額 (B)	比 較 増 減	
			(A)-(B)	(A)/(B) %
工業用水道事業収益	1,138,932	1,083,660	55,272	105.1
営 業 収 益	968,762	961,842	6,920	100.7
営 業 外 収 益	170,170	121,818	48,352	139.7
工業用水道事業費用	890,907	916,046	△ 25,139	97.3
営 業 費 用	881,788	914,139	△ 32,351	96.5
営 業 外 費 用	9,119	1,907	7,212	478.2
当 年 度 純 利 益	248,025	167,614	80,411	148.0

②財務状況

令和7年度末の総資産は、前年度より1,215,045千円(8.6%)増加して15,369,158千円、また、負債は967,020千円(49.9%)増加して2,903,211千円となり、資本は248,025千円(2.0%)増加して12,465,947千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和7年度 決 算 額	令和6年度 決 算 額	比較増減	科 目	令和7年度 決 算 額	令和6年度 決 算 額	比較増減
固定資産	9,878,112	8,985,187	892,925	固定負債	405,774	335,556	70,218
流動資産	5,491,046	5,168,926	322,120	流動負債	663,836	204,990	458,846
				繰上収益	1,833,601	1,395,645	437,956
				負債合計	2,903,211	1,936,191	967,020
				資本金	9,369,723	9,348,462	21,261
				剰余金	3,096,224	2,869,460	226,764
				資本合計	12,465,947	12,217,922	248,025
合 計	15,369,158	14,154,113	1,215,045	合 計	15,369,158	14,154,113	1,215,045

③企業債の状況

令和8年3月31日現在の企業債の現在高は47,911千円です。

(3) 令和8年度の事業および予算の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、本年度は 58事業所に 1日平均 51,445 m³の工業用水を供給する予定としています。

彦根工業用水道事業については、河瀬ライン管路移設工事等を行うこととしています。

南部工業用水道事業については、引き続き栗東六地藏地先配水管等整備工事等を行うこととしています。

○令和8年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
工業用水道事業収益		1,274,900	206,537	1,068,363
	営 業 収 益	1,066,027	176,259	889,768
	営 業 外 収 益	208,873	30,278	178,595
工業用水道事業費用		879,300	190,542	688,758
	営 業 費 用	873,372	190,231	683,141
	営 業 外 費 用	5,928	311	5,617

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
資 本 的 収 入		932,700	500	932,200
	補 助 金	54,200	—	54,200
	諸 収 入	878,500	500	878,000
資 本 的 支 出		2,482,200	152,403	2,329,797
	建 設 改 良 費	2,332,644	151,273	2,181,371
	企 業 債 償 還 金	15,459	—	15,459
	固 定 資 産 購 入 費	5,588	1,130	4,458
	投 資	128,509	—	128,509

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。